

二所朝廷と万代宮

鎌倉時代の随筆として、鴨長明の『方丈記』が知られている。この随筆で、鴨長明は嵯峨天皇が平安京を都に定めたと述べている。平安京遷都は、794年に桓武天皇が決めたはず。これはどういうことか。教科書で曖昧に誤魔化される、非常に難解な「薬子の変」を詳細に見ることで、この謎を解明したい。

○二所朝廷

●式家の思惑

式家の⁽¹⁾ _____ が造営を主導した⁽²⁾ _____ は、
794年、⁽³⁾ _____ へ遷都が決まると打ち捨てられた。

→(1)の子藤原仲成、娘⁽⁴⁾ _____ にとって、(3)は父の事業を否定する都であった。

⇒仲成と(4)は⁽⁵⁾ _____ 天皇(桓武天皇の子)の寵愛を受け、
特に(4)は「内侍」となり、平城京への遷都に(5)を突き動かしていった。

●二所朝廷—平城太上天皇と嵯峨天皇

平城天皇が病気のため、弟⁽⁶⁾ _____ 天皇(桓武天皇の子)が即位した。

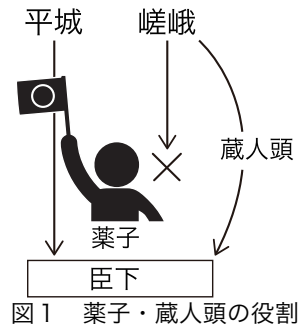
→藤原薬子が内侍として朝廷に残ったので、役割上次の2点が問題であった。

- ①臣下の言葉を天皇に伝える(問題:伝える情報を選べる)
- ②天皇の言葉を臣下に伝える(問題:太上天皇の命令のみ伝える)

→平城太上天皇は薬子を通じて政治に介入し、二所朝廷という状況を生んだ。

⇒(6)は内侍とは別に⁽⁷⁾ _____ を創設し、北家の⁽⁸⁾ _____ を任じた。

◇優劣は「太上天皇≧天皇」



810年、⁽⁹⁾ _____ (平城太上天皇の変)

…平城太上天皇が平城京への遷都を宣言すると、

(6)が(7)を通じて迅速に兵を出し、太上天皇側を封殺した事件

…平城は出家し、仲成は射殺され、薬子は自殺

⇒事件は次の3つの結果をもたらした。

- ①解決に貢献した冬嗣が嵯峨に重用されて、北家が台頭(式家は没落)
- ②太上天皇と天皇の衝突回避のため、嵯峨は太上天皇の権限を制限
- ③「都=平安京」の強調のため、嵯峨は平安京が「万代宮」と宣言



図2 藤原冬嗣

●『方丈記』の一文



図3 鴨長明

大方、この京の初めを聞ける事は、⁽¹⁰⁾ _____ 天皇の御時、
都と定まりにけるより後、既に、四百余歳を経たり

【現代語訳】

だいたいこの京都(平安京)の始まりの様子を聞くと、(10)天皇の御代に、
国の都と定まってから以後、もはや、400余年を経ている。



二所朝廷とその結果の「都」の強調が、『方丈記』に反映されている。